

氏名	瀧田浩平	部署	看護学科	職名	助教
研究分野	小児看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴	2007年秋田大学医学部保健学科看護学専攻、2014年東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻				
経歴	2014年東京慈恵会医科大学医学部看護学科助教、2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助教				
所属学会(役職)	日本小児看護学会、日本看護科学学会、日本育療学会、日本看護倫理学会、SPU学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	入院中の子どものセルフケア能力・親のケア能力向上への看護を測定する尺度の開発	共著	あり		日本小児看護学会誌,31,53-60	長谷 美智子, 櫻井 育穂, 辻本 健, 瀧田 浩平, 添田 啓子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	子どもに携わる看護師を対象とした子どもの権利擁護実践を高める教育プログラム(初級編)の開発と検証—プログラム受講後の子どもの権利擁護実践状況—	共同		第68回日本小児保健協会学術集会、web開催	高橋衣、三浦靖彦、平野大志、日沼千尋、会田薫子、遠藤里子、瀧田浩平、山田咲樹子、中山紗野子	2021.6
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			網膜芽細胞腫をもつ乳幼児の発達促進のための長期フォローアップ体制の基盤構築	研究分担者	2017年4月 ~2023年3月
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			小児医療者を対象とした子どもの権利擁護実践能力を高める教育プログラムの開発と検証	研究分担者	2018年4月 ~2022年3月
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			子どものセルフケア、親のケア能力獲得を支援する看護師の教育指導力の定着・評価	研究分担者	2019年4月 ~2022年3月
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)			看護師を対象とした子どもの権利擁護実践を高める教育プログラム(中級編)の開発	研究分担者	2021年4月 ~2024年3月
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	子どもの保健		1	「子どもの救急処置および蘇生法の特徴と実際.AED等の機器の実際」についてオンライン講義を行った。		
2	子どもと家族のヘルスプロモーション	○	1	子どもと家族のヘルスプロモーションのヘルスプロモーションとはという科目の導入についてオンライン講義を行った。		
3	小児看護学II		1	「気管支喘息をもつ子どもと家族の看護」についてオンライン講義を行った。オンラインでも講義に集中し関心を向けられるよう、講義内でクイズ形式や考えさせる問いなどを取り入れた。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学Ⅳ		21	技術演習と事例を関連させて考えさせることで単なる技術の学習ではなく看護のとして学ぶことが出来るよう工夫した。
2	子どもと家族のヘルスプロモーション	○	8	インタビューした内容が、ヘルスプロモーションの学びとして高められるようグループワークでファシリテートした。
3	子どもの保健		6	子どものイメージをなるべく具体的に学べるようDVDなどの視聴覚教材を使用し工夫した。
4	小児看護学Ⅲ		15	PBLでの学びとして、学生主体に疑問をもち気づきを促し、お互いが学びあえるようグループワークでファシリテートした。
5	小児看護Ⅰ		7	グループワークのなかでは学生の気づきを促し、学びを共有できるようファシリテートを行い、学生の学びのリフレクションにコメントすることで学生の学びを深めることができるよう工夫した。
6	ヒューマンケア論		8	オンデマンドとリアルタイムでの遠隔講義をサポートした。学生が安全に講義に参加できるよう調整した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		2021.11～2021.12	4クール計20名の学生に対し実習指導を行った。病棟での見学実習にて学生の学びが促されるよう、スタッフとの調整や見学場面の気づきに意味付けやケアの振り返りを行った。見学した内容をイメージとして紙上事例の看護を具体的に展開できるようサポートした。
2	総合実習		2021.7～2021.8	5名の学生に対し実習指導を行った。病棟での見学事例の情報から読み取れる子どもの特徴をより具体的なイメージとして学び取り、看護を計画し実践をイメージできるようOSCEなど工夫した。学生の目標を学生と共に段階に分けて評価振り返りすることで、自身の看護や学びを評価修正する機会を多く設けるようにした。
3	IPW実習		2021.10～2021.10	5名の学生の実習ファシリテーターを担当した。対象者や施設ファシリテーターとのやり取りから学生が対象を包括的な理解へとつながるよう、グループワークでは学生の専門性を活かし自身の気づきを促すファシリテートをした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2022.1	主指導	2名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	小児の健康状態に応じた看護	慈恵第三看護専門学校	「救急処置を要する児への看護」「手術を受ける小児と家族の看護」	2021.12、 2022.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本小児看護学会	診療報酬検討委員会		2019～2021.5
2	日本小児看護学会第31回学術集会	企画委員 総務担当 実行委員		2020～2021.10
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	県立小児医療センター	看護師への研究指導	2021.4～2022.3
2	地域貢献活動	県立小児医療センター	看護師との事例検討会	2021.4～2022.3

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学科等における委員会等	SPU学会 会計委員	2021.4～
2	学生支援	2年生担任	2021.10～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		